

令和3年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第4号

令和3年6月11日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の管理のポイント

- ・水深3cm程度の浅水で管理し、有効茎確保まで分けつの発生を促しましょう。
- ・雑草の発生が多い場合は、中・後期剤による除草を行いましょ。
- ・補植用残苗はいもち病の発生源となるので、早急に処分しましょ。

1 気象の概況

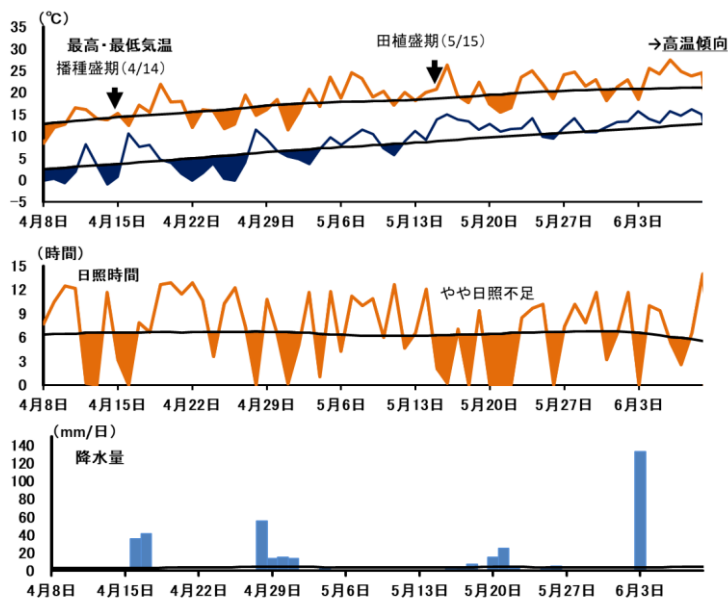


表1 気象経過 (気仙沼アメダス)

	平均気温(°C)		日照時間(h)		降水量(mm)	
	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
4月 中旬	10.4	1.5	67.2	101%	78.0	239%
4月 下旬	9.9	-0.9	92.4	135%	69.5	161%
5月 月上旬	13.5	0.9	72.7	115%	31.5	79%
5月 中旬	15.3	1.8	61.0	98%	13.5	33%
5月 下旬	15.9	0.6	65.7	91%	52.0	112%
6月 月上旬	18.1	1.8	69.4	107%	134.0	340%

・5月の月平均気温は平年よりやや高い

・6月上旬の平均気温もやや高く、今後も中旬まで高くなる見込み

図1 気象経過図 (気仙沼アメダス：4月8日～6月10日)

2 水稻生育調査ほの生育概況

表2 水稻生育調査結果 (6月10日調査)

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市 (気仙沼)	本 年	5/16	18.7	25.0	179.5	5.8	30.7
	前年比・差	-	-	-	-	-	-
	平年比・差	-	-	-	-	-	-
ひとめぼれ 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/12	19.7	25.8	427.5	6.8	36.3
	前年比・差	-2	97%	96%	125%	+0.3	-1.7
	平年比・差	-3	101%	102%	168%	+0.2	-0.2
ひとめぼれ 南三陸町 (志津川)	本 年	5/13	18.2	26.8	296.7	5.7	37.1
	前年比・差	+1	98%	92%	112%	-1.0	-4.5
	平年比・差	+1	102%	93%	105%	-1.3	-3.6
県平均値	本 年			28.1	230.6	6.8	40.0
	平年比・差			98%	93%	-0.3	+1.0

注1) 平年値は平成28年から令和2年までの5か年の平均値 (志津川は平成30年からの3か年平均)。

注2) 気仙沼は令和3年度から調査開始のため平年値、前年値ともなし。

注3) 県平均値は、県内30地点 (葉数は23地点) の生育調査ほ (品種：ひとめぼれ、ササニシキ) の平均値

- 管内の生育調査ほにおける6月10日現在の生育は、草丈が概ね平年並、㎡当たり莖数が植付本数の多かった本吉では多く、志津川では概ね平年並となっています。
- 葉数は志津川で平年よりやや少なくなっていますが、分けつは旺盛であり、前回からの増加率は本吉・志津川ともに約140%、気仙沼は60%となっています。

3 今後の管理の留意点

【水管理】

- 水深3cm程度の浅水管理で水温と地温を上昇させ、分けつ発生を促しましょう。
- 低温や強風が予想される場合には5～6cm程度の深水としましょう。

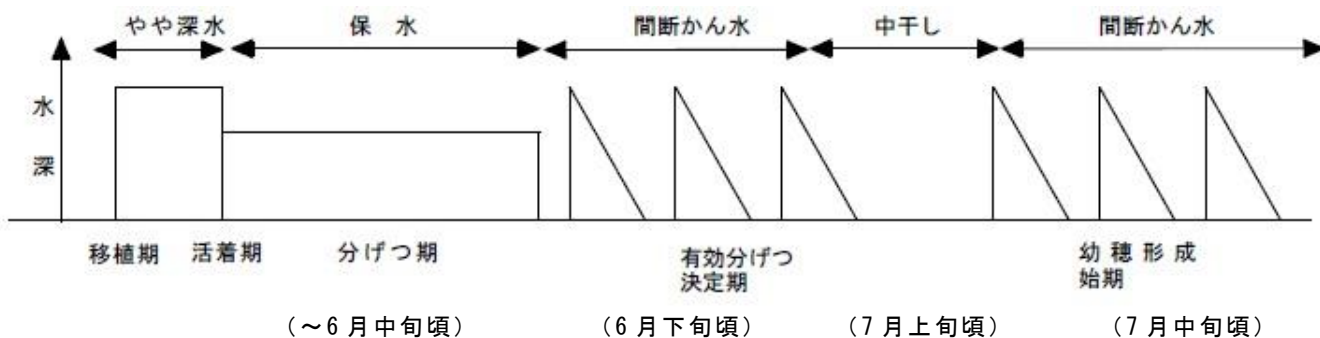


図2 出穂期までの水田水管理体系（宮城の稲作指導指針（基本編））

【ガス発生の軽減】

- 生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、稲に有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。中干し前に一時的に落水するなど土壌中に酸素を供給し、根の障害を防ぎましょう。

【中干し】

- 中干しは、根の活力の向上、無効分けつの発生抑制、作土層の硬化促進などの効果があります。有効莖数（表3）を確保したら、幼穂形成期（7月上旬頃）までに完了できるよう、早めの実施しましょう。
- 中干しは、「田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく」程度とします。

表3 品種別有効莖確保期（中干し開始時期）の目安（宮城の稲作指導指針（基本編）県栽培ごよみ）

品種名	時期	中干し開始時の ㎡当たり 莖数（本）	田植時の設定株数	
			50株/坪（15.2株/㎡） の場合 1株当たり本数	60株/坪（18.2株/㎡） の場合 1株当たり本数
ひとめぼれ	6月20日頃	310～360	20～24	17～20
ササニシキ	6月25日頃	460～500	30～33	25～28
まなむすめ	6月20日頃	460～500	30～33	25～28
みやこがねもち	6月30日頃	380～430	25～28	21～24

【雑草防除】

- 初中期一発剤を散布したほ場でも残草があれば、雑草の種類や葉齢を確認し、中・後期剤等を適期に施用して防除しましょう。
- ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せます。イヌホタルイやシズイにもアカスジカスミカメが寄生・産卵しますので、雑草対策を徹底し、斑点米発生による落等を防ぎましょう。

【病虫害防除】

① いもち病

- 補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。まだ残苗がほ場にある場合は、早急に処分しましょう。
- 箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤（粒剤、パック剤）を初発の1週間前まで（6月中旬頃まで）に散布しましょう。
- 箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。
- 葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。予防防除が管理の基本であり、発病が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見と防除に努めましょう。

② イネドロオイムシ

- 卵塊密度が100株当たり80個になっている水田では、幼虫ふ化盛期に幼虫を対象とした水面施用剤や茎葉散布剤による防除を行ってください。
- 6月の気象が曇雨天で経過すると成虫の産卵期間が長引き、幼虫の加害期間も長くなります。今後の気象経過に注意し、発生が長引く場合は追加防除を実施しましょう。
- 殺虫剤を育苗箱処理した水田でイネドロオイムシの発生が多い場合は、薬剤抵抗性が発達している可能性がありますので、普及センター等にご相談ください。

○「だて正夢」の栽培管理について

表4 だて正夢現地栽培技術普及展示の生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)
だて正夢 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/14	21.1	31.3	468.4	6.5	42.2
	前年比・差	+1	101%	102%	326%	+0.7	+2.3
	平年比・差	+1	108%	101%	241%	+0.4	+3.3
だて正夢 県平均値	本 年	-	-	32.8	234	6.7	40.4
	前年比・差	-	-	105%	133%	+0.2	0.7

注1) だて正夢は平成29年から調査開始のため、平年値は令和2年までの4か年平均。

注2) 県平均値は、県内9普及センター+古川農業試験場の平均値（葉数は7普及センター+古川農試）

「だて正夢」は「ひとめぼれ」よりも茎数の増加が極めて緩やかです。茎数を確保するため、活着は水深3cm程度の浅水で管理し、分けつ発生を促しましょう。

目標穂数 350~450本/㎡

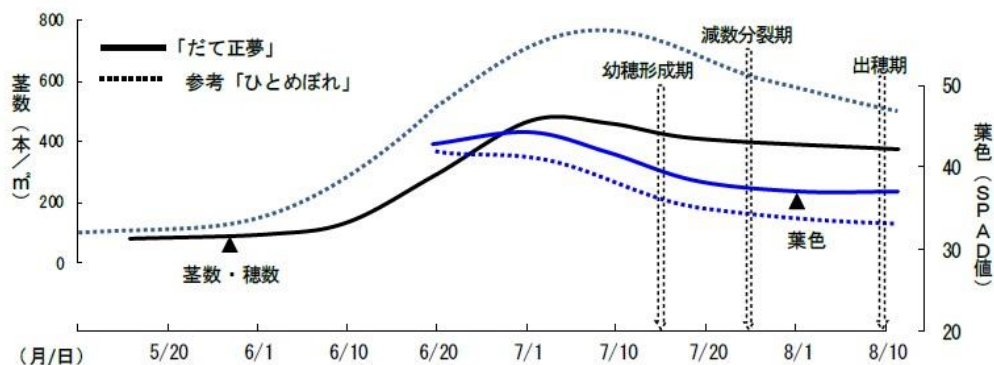


図3 「だて正夢」生育のイメージ（宮城県「普及に移す技術」第94号より）

注) 平成28~30年栽培試験にて適正な粒数・収量・品質を得た試験区の生育をもとに作図

○東北地方の1か月予報（6月12日～7月11日までの天候見通し）によると、予想される向こう1か月の天候は下記のとおりです。

気温は平年より高く、降水量・日照時間はいずれも平年並みの見込みです。

また、6月中旬の気温は平年より高く、6月下旬以降は曇りや雨の日が多く、気温はほぼ平年並となる見込みとなっています。

（仙台管区气象台 令和3年6月10日発表）

（https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=040000&term=1month）

○気象から見た栽培管理のポイント

→水稲の生育が早く進む可能性があり、植付本数が多かったほ場ではすでに目標茎数に達している事例もみられます。状況を確認しながら、適期の水・肥培管理に努めてください。

→雑草の生長も急速に進むため、中・後期除草剤の施用時期が遅れないよう注意してください。

4月1日～6月30日は「春の農業安全確認運動」の実施期間です。

スローガン「見直そう！農業機械作業の安全対策」

6月1日～8月31日は「令和3年度宮城県農薬危害防止運動」の実施期間です。

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名・対象病害虫や雑草、収穫前日数等の登録情報をラベルやウェブサイト等で確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って使用しましょう。

最新の農薬登録情報は、農林水産省のウェブサイト（下記）※で確認できます。

URL（<https://pesticide.maff.go.jp/>）

※「農薬登録情報提供システム」の更新に伴い、令和3年3月10日より農林水産消費安全技術センターのウェブサイトから移動しています。